

江差町立南が丘小学校



かけはし

【本年度の重点目標】

『学び合い高め合う子どもの育成』

〔笑顔!〕〔習慣!〕〔学び合い!〕

Tel.0139-52-0524 Fax.0139-52-5489

心の強い子どもに

校長 白川清久

- ・ 他人の視線が気になる (56.0%)
- ・ 気持ちが傷つけられやすい (47.5%)
- ・ 取り越し苦労をする (45.0%)
- ・ 周囲の人が気になって困る (42.5%)
- ・ 気疲れする (41.3%)

左の枠の中は、東京のある私立大学の学生を対象にした調査の結果である。

大学生と言えば、キャンパスライフを謳歌し、合コンやサークルで仲間と盛り上がるようなイメージがあるのだが、現代社会ではそうでもないらしい。このデータからは、仲間内のちょっとした冗談でも簡単に傷ついてしまい、心を閉ざし

たり、悩みを深めたりする若者の姿が想像できる。

どんな子どもに育ててほしいかという問いを親に投げかけると、年代や地域を問わず、決まって「やさしい子」「思いやりのある子」が第一位になるらしい。しかし、どうも「やさしい」だけでは生きづらい世の中なのかもしれないと思う。教育心理学者の深谷和子氏は、「これからの時代は心の力の強い子に育てよう」と親や教師が目標をシフトしていくことが大切だと述べている。そして、そのために必要なこととして次の5点を挙げている。

- ① 家族や学級の中での安定した信頼関係（よさの認め合い・ぬくもり・いたわり）
- ② 親の自信と権威
- ③ 子どもの話をじっくりと聴く共感的な態度
- ④ 読書が人をつくる（心の強い主人公のサクセスストーリー）
- ⑤ 「強いね」「よく我慢したね」「えらいね」「がんばったね」というほめ言葉

今年度の重点は、「認め合い高め合う子どもの育成」であった。授業では、ペアやグループで互いの考えを話し合う場を多くもつようにした。また、フレンズ班の活動では、高学年が活躍できるような場を作り、学年を越えた関係性を大切にするようにした。「たば風南小」の「たば」は、全員がつながっているという結束力の「たば」でもある。個々の「違い」や「多様性」を受け入れながらも、互いのよさを認め合い、意欲や向上心を高め合う姿は今後とも大切にしていきたい。



学校の主役は子どもだが、学校づくりの主役は教師である。先生方が子どもの成長を願い、教育という仕事に情熱をもって自ら学び続ける。そして、子どもが困ったり、壁を乗り越えたりしながらも、温かい人間関係の中で成長する姿を保護者のみなさんと共に実現していくことを私たちは大切にしている。こういった学校文化の中で、心の強い子どもたちが育ち続けることを願うばかりだ。

二年間のご理解とご協力に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



児童総会

児童会役員選挙

2日の児童総会では今までの活動を振り返りと次期児童会への要望などが出されました。8日には次期児童会役員の選挙も行われ、児童会も新年度への準備が始まりました。

3/1の全校集会



「この1年間でがんばったこと」を1年明上将也くんは「なわとび」の実演で、6年西川悠斗くんは「提出日を守る、ノートやプリントの字を丁寧に書くことなど」を発表しました。

3/7 ピア・サポート実践講座



八雲高等学校の長野喜美子氏を講師に、40名以上の参加者と「新年度からの学級づくりに生かすピア・サポートの理論と実践」について学び合いました。

移動図書



最終日の移動図書コーナーは、読みたい本を探す子どもたちで賑わいました。移動図書を楽しみにしている子が多く、この活動からも、たくさんの本に出会うことができました。

感謝の気持ちを込めて…卒業生を送る会

1年「歌う絵本 ジャンボゴリラと竹の子」



2年「パクパク人形ダンス」



3年「クイズ だれ？」



全校の中心になって活躍した6年生に対し、自分たちで考えた表現の仕方でも「感謝」の思いを伝えました。学年毎の発表だけでなく、実行委員会で考えた全校ゲーム「行ったり来たりゲーム」もありました。参加したみんなの心が一つになり、笑顔が溢れ、思い出深い時間を過ごすことができました。

4年「ジェスチャーゲーム」



5年「歌とお礼の言葉」



6年「ダンス&手品&クイズ」



第58回卒業証書授与式 はばたけ未来へ！

3月18日（金）教育委員 加澤 優香子様はじめ来賓及び保護者の皆様のご臨席を賜り、第58回の卒業証書授与式が、心地よい緊張感の中、盛大に挙行されました。そして、修学旅行などたくさんの思い出を胸に、13名の卒業生がこの学舎を巣立っていきました。

運動会や学習発表会、フレンズ班遠足など学校行事はもちろんのこと、入学時期の1年生のお世話、児童会や委員会活動と何事にも真剣に取り組んできた6年生です。ここ一番では、必ずリーダーシップを発揮してくれました。

白川校長先生から手渡された卒業証書。一人一人がしっかりと受け取り、壇上でこれまでの小学校生活を思い出しながらも、力強く将来に向けたメッセージを述べる姿は自信に満ちていました。在校生も精一杯の声で呼びかけや歌で卒業生に応えていました。

4月から中学校で、そして南が丘小学校で、それぞれが力強く一歩を踏み出してくれることを大いに期待しています。

保護者の皆様、そしてご来賓の皆様。最後まで卒業式を見守ってくださり、ありがとうございました。これからも子どもたちのことをよろしくお願いいたします。



～春休み…望ましい生活習慣の確立にご協力を！～

本日、修了式を終えた児童のみなさんは、明日から4月5日（火）まで11日間の春休み期間に入ります。わずかな期間ではありますが、新しい学年での学校生活を元気にスタートできるように、次のことにご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

- 正しい生活リズムで過ごさせましょう！（早寝早起き！）
- 一日三食しっかり食べましょう！（特に「朝ご飯」はきちんと！）
- 家庭学習を毎日行う習慣をつけましょう！〔南小の目標時間：学年×10分以上です〕
（前学年の復習等をしっかり行って、次の学年に備えましょう！）
- テレビやゲームの時間のルールを決め、しっかりと守らせましょう！
〔南小の目標時間：テレビの時間とゲームの時間を合わせて2時間以内です〕

《南小ネットトラブル防止三か条》

1. スマホや携帯等（DS等通信型ゲーム機を含む）を持たせる場合は、必ず、ルールや約束を決め、守れないときは使用を制限する。
2. 夜9時以降は、目の届く場所に置かせるなど、保護者が預かるようにする。
3. 有害サイトを制限するフィルタリングサービスを必ず受ける。

みんなで育てる《えさしっ子運動》

- ㊦がおであいさつ
いい気分
- ㊧さわやか習慣
早寝早起き朝ご飯
- ㊨しっかり守る
ゲームとスマホの時間とルール



お世話になりました ー退職者・転出者の紹介ー

本日、子どもたちとのお別れの式（離任式）を行いました。この度、退職、転出する先生方より保護者の方々並びに、地域の皆様に、お別れのご挨拶を申し上げます。

白川 清久 校長（滝川市立滝川西小学校へ）

ホールから見える美しい日本海、冬のたば風、江差追分や沖揚音頭の響き、そして何より、笑顔の素敵な子どもたち、やる気溢れる先生方、子どもへの愛情深い保護者や協力的な地域みなさんと共に過ごさせていただいた幸せな2年間でした。檜山教育局の2年間を合わせると4年間、江差の町での暮らしも満喫しました。

定年退職まで残り3年となり、「たば風南小」で学んだ学校の組織力やチームワークを新たな学校で生かすつもりであります。

この度、14年間お世話になった檜山にも別れを告げることとなりました。本当にありがとうございました。



山谷 美津代 教諭（退職）

6年前に南が丘小学校の着任式で、元気なあいさつときれいな歌声で迎えられ、感激したことが今でも心に残っています。また、数日後にホールで見た夕日の美しさには、心を奪われました。そして、この学校で教職最後の年を過ごせることを幸せに思いました。

南小では、子どもたちが真剣なまなざしで取り組む南フェス、高学年のたくましさが見えるフレンズ班遠足が思い出としてあげられます。また、地域の人々の取り組みの熱い思いで受け継がれている、鮫踊りと沖揚げ音頭は、何度見ても感動しました。

P T Aの皆様大変お世話になり、本当にありがとうございました。



高橋 昇悟 事務職員（江差町役場へ）

この度、任用期限満了に伴い退職することになりました。1年間という短い期間ではありましたが、初めての仕事をたくさん経験し非常に濃い時間を過ごすことができました。業務をこなすことに集中した反面、子どもたちと交流する機会はありませんでしたが、教室に行ったときや廊下に出たときに話しかけてくれてとてもうれしかったです。

4月からは江差町職員となります。少し遠回りしましたが、南小での経験を生かして江差町のために力を尽くします。1年間ありがとうございました。そして今後ともよろしくお願ひします。